

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 田中、野村、山本、島田、三浦、福竹、松下、南山、玉田、野田、西、千賀
受講生 原田、中村、坂口、桐原、坂本

2. 山城／ルート 六甲山系 芦屋 RG 周辺

3. 交通手段 電車等

3. 行動記録

<入山日 2013 年 11 月 24 日。 下山日 2013 年 11 月 24 日>

阪急芦屋川駅 8:10-地獄谷～月の砂漠 12:30～高座谷～キャッスル～荒地山
-魚屋道-黒五谷-打越峠-八幡谷-阪急岡本駅 16:20

(玉田、野田、福竹、三浦、桐原は荒地山から芦屋へ下山)

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

1 名が地獄谷でぎっくり腰により下山

5 名は荒地山から芦屋へ下山

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

1 名が、地獄谷入口から 30 分程度上流大岩の場所でぎっくり腰を発症(10:00 頃)。
重量物をメンバーが受領し、休憩後芦屋へ下山(12:15)

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

本隊と分かれて下山した 1 名および 5 名との下山連絡がスムーズでなかった。

下山時に本隊が山中にいるため連絡が取れない。

入山前に留守電を受けられる様に設定するなどの処理が必要か。

現状各自の判断によっている救急セットの内容物の在り方を検討すべきと思う。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

月の砂漠周辺はアイゼントレーニングを行う人が多くおられ混雑していた。

プルージックによる確保を実施。

荒地山から黒五谷-岡本間は読図トレも実施した。

参加した受講生のアイゼン歩行は基本的な部分については理解している様子。

メンバーの何名かが、冬靴でのトレーニングで靴擦れになった。

この時期黒五穀の紅葉の紅葉がすばらしい。

報告者氏名 千賀 義一 2013年 11月 26日